

(11)特許出願公開番号
特開2001-213446
(P2001-213446A)

(43)公開日 平成13年8月7日(2001.8.7)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
B 6 5 D 30/22		B 6 5 D 30/22	E 3 E 0 6 4
33/00		33/00	C 3 E 0 6 7
33/14		33/14	A 5 H 0 4 0
33/20		33/20	
77/00		77/00	A
審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 6 頁) 最終頁に続く			

(21)出願番号 特願2000-28785(P2000-28785)

(22) 出願日 平成12年2月7日(2000.2.7)

(71)出願人 390036629

株式会社ヤマガタグラビヤ
大阪府八尾市若林町2丁目99番地

(72) 究明者 山形 一紀

大阪府八尾市若林町2丁目99番地

(74) 代理人 100077791

弁理士 中野 収二

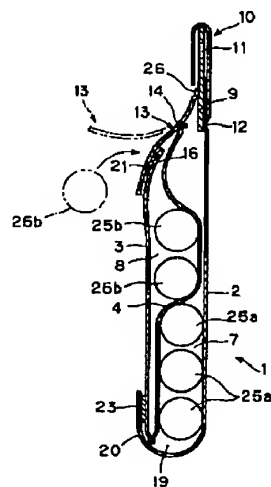
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 乾電池等の小物品販売用袋

(57) 【要約】

【目的】 複数個の乾電池等をパッケージした状態で店頭に吊下げるにより陳列販売が可能であり、パッケージを購入したユーザが必要個数だけを取り出して使用した後、使用済の乾電池を未使用の乾電池と区別した状態で同じ袋に戻して収納できるようにした袋を提供する。

【構成】 上部に厚手の合成樹脂シートから成るヘッダ芯材を備えた裏フィルムと、該裏フィルムに重ねられた表フィルムと、表裏フィルムの間に介装された仕切フィルムとを備えた袋体において、裏フィルムと仕切フィルムの間に形成した未使用物品収納室が袋体の下部に開口する物品取出口を下部封口片により開閉せしめ、表フィルムと仕切フィルムの間に形成した使用済物品収納室が袋体の上部近傍に開口する使用済物品投入口を上部封口片により開閉せしめる構成であり、更に、上部封口片とヘッダ芯材との間に未使用物品収納室に連通する未使用物品投入口を設け、該投入口を封緘自在とした構成である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 上部に厚手の合成樹脂シートから成るヘッダ芯材を備えた裏フィルムと、該裏フィルムに重ねられた表フィルムと、表裏フィルムの間に介装された仕切フィルムとを備えた袋体において、

裏フィルムと仕切フィルムの間に未使用物品収納室を形成し、袋体の下部に未使用物品収納室を開閉自在に封閉する下部封口片を設け、

表フィルムと仕切フィルムの間に使用済物品収納室を形成し、袋体の上部近傍に使用済物品収納室を開閉自在に封閉する上部封口片を設けると共に、該上部封口片とヘッダ芯材との間に未使用物品収納室に連通する未使用物品投入口を設け、該投入口を封緘自在に構成して成ることを特徴とする乾電池等の小物品販売用袋。

【請求項2】 上部に厚手の合成樹脂シートから成るヘッダ芯材を備えた裏フィルムと、該裏フィルムに重ねられた表フィルムと、表裏フィルムの間に介装された仕切フィルムとを備えた袋体において、

裏フィルムと仕切フィルムの間に未使用物品収納室を形成し、袋体の下部に未使用物品収納室を開閉自在に封閉する下部封口片を設け、

表フィルムと仕切フィルムの間に使用済物品収納室を形成し、袋体の上部近傍に使用済物品収納室を開閉自在に封閉する上部封口片を設けると共に、ヘッダ芯材から延びるフィルムにより該使用済物品投入口を開閉自在に封閉する上部封口片を設け、

前記ヘッダ芯材の表面上で上部封口片が開閉自在に封閉することにより前記未使用物品収納室に連通する未使用物品投入口を設け、該未使用物品投入口の開口縁を構成する上部封口片をヘッダ芯材に溶着自在に構成して成ることを特徴とする乾電池等の小物品販売用袋。

【請求項3】 裏フィルムをヘッダ芯材の裏面から表面に向けて折り返し延長することにより上部封口片を形成すると共に、上部封口片と仕切フィルムを相互に溶着する上部溶着部を設け、上部溶着部の上方で上部封口片の幅方向に設けたスリットにより未使用物品投入口を形成して成ることを特徴とする請求項2に記載の乾電池等の小物品販売用袋。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、乾電池等の小物品を収納した状態で店頭において販売するための袋に関する。

【0002】

【従来の技術】例えば、乾電池は、複数個をパッケージした状態で、店頭において販売されている。複数個の乾電池を包装するためのパッケージは、シュリンクフィル

ムやブリスター等が使用されているが、何れも、店頭販売だけが目的とされ、これを購入したユーザが乾電池を使用するに際しては、乾電池を取出した後、パッケージを廃棄せしめられる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】前述のように乾電池のパッケージを購入したユーザは、パッケージを開封した後、複数個の乾電池がバラバラになるため、それが未使用の乾電池であるのか、使用済の乾電池であるのか、自ら管理しなければならない。ところが、このような管理を簡便に行うための手段が存在しない。

【0004】また、近年は、廃棄物処理の関係上、乾電池の廃棄にも種々の制約があり、廃棄に際しては使用済の乾電池であることを明確に視認できるように表示することが必要である。ところが、使用済の乾電池をまとめて廃棄に供するための簡便な手段が存在しない。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、複数個の乾電池等をパッケージした状態で店頭販売を可能ならしめると共に、パッケージを購入したユーザが物品を使用するに際しては、袋から必要個数だけを取り出して使用することができ、しかも、使用済物品を同じ袋に戻して収納することができ、その際、使用済物品と未使用物品を相互に区別可能とすることにより管理を容易に行わせ、更に、全ての物品を使用し尽くし、使用済物品を全て袋に戻して収納した状態で、これが使用済の乾電池であることを表示せしめることにより廃棄を便利とした乾電池等の小物品販売用袋を提供するものである。

【0006】そこで、本発明が第一の手段として構成したところは、上部に厚手の合成樹脂シートから成るヘッダ芯材を備えた裏フィルムと、該裏フィルムに重ねられた表フィルムと、表裏フィルムの間に介装された仕切フィルムとを備えた袋体において、裏フィルムと仕切フィルムの間に未使用物品収納室を形成し、袋体の下部に未使用物品収納室を開閉自在に封閉する下部封口片を設け、表フィルムと仕切フィルムの間に使用済物品収納室を形成し、袋体の上部近傍に使用済物品収納室を開閉自在に封閉する上部封口片を設けると共に、該上部封口片とヘッダ芯材との間に未使用物品収納室に連通する未使用物品投入口を設け、該投入口を封緘自在に構成して成る点にある。

【0007】また、本発明が第二の手段として構成したところは、上部に厚手の合成樹脂シートから成るヘッダ芯材を備えた裏フィルムと、該裏フィルムに重ねられた表フィルムと、表裏フィルムの間に介装された仕切フィルムとを備えた袋体において、裏フィルムと仕切フィルムの間に未使用物品収納室を形成し、袋体の下部に未使用物品収納室を開閉自在に封閉する下部封口片を設けると共

に、該物品取出口を開閉自在に封口する下部封口片を設け、表フィルムと仕切フィルムの間に使用済物品収納室を形成し、袋体の上部近傍に使用済物品収納室を開口せしめる使用済物品投入口を設けると共に、ヘッダ芯材から延びるフィルムにより該使用済物品投入口を開閉自在に封口する上部封口片を設け、前記ヘッダ芯材の表面で上部封口片が開口せしめられることにより前記未使用物品収納室に連通する未使用物品投入口を設け、該未使用物品投入口の開口縁を構成する上部封口片をヘッダ芯材に溶着自在に構成して成る点にある。

【0008】上部封口片は、裏フィルムをヘッダ芯材の裏面から表面に向けて折り返し延長することにより形成し、上部封口片と仕切フィルムを相互に溶着する上部溶着部を設け、上部溶着部の上方で上部封口片の幅方向に設けたスリットにより未使用物品投入口を形成するのが好ましい。

【0009】

【発明の実施の形態】以下図面に基づいて本発明の好ましい実施形態を詳述する。

【0010】図1に示すように、袋体1は、裏フィルム2と、該裏フィルム2に重ねられた表フィルム3と、表裏フィルム3、2の間に介装された仕切フィルム4とから構成されている。例えば、一枚の合成樹脂フィルムから成る仕切フィルム4を挟んで表裏から二枚の合成樹脂フィルムから成る表裏フィルム3、2を重ねた状態で、袋体1の両側縁5、5を溶断溶着することにより溶着縁6を形成するサイドシール方式により製袋されている。

【0011】これにより、仕切フィルム4と裏フィルム2の間には未使用物品収納室7が形成され、仕切フィルム6と表フィルム3の間には使用済物品収納室8が形成されている。

【0012】袋体1の上部に位置して、裏フィルム2には、厚手の合成紙又は合成樹脂シートから成るヘッダ芯材9が設けられ、これにより袋体1を吊下げ陳列するためのヘッダ部10を構成している。図示実施形態の場合、袋体1の上部において裏フィルム2をヘッダ芯材9の裏面から表面に向けて折り返し包囲せしめることによりヘッダ部10を構成し、該ヘッダ部10に貫通孔又は切欠状フック等から成る吊下げ手段11を形成している。尚、ヘッダ芯材9と、これを包囲するように折り返された裏フィルム2とは、前記溶着縁6、6に沿ってサンドイッチ状に溶着される他、ヘッダ芯材9の裏面において裏フィルム2を袋体1の幅方向に溶着した裏面溶着部12を介して相互に固着されている。

【0013】また、ヘッダ芯材9を包囲して折り返された裏フィルム2は、ヘッダ部10から更に延長することにより上部封口片13を構成し、該上部封口片13と仕切フィルム4の上端縁を相互に袋体1の幅方向に溶着した上部溶着部14を設け、該上部溶着部14の上方に位

置して上部封口片13の幅方向に設けたスリットにより未使用物品収納室7に連通する未使用物品投入口15を形成している。

【0014】この際、表フィルム3の上端縁は上部封口片13に溶着されておらず、これにより袋体1の上部近傍に使用済物品収納室8を開口せしめる使用済物品投入口16を設けている。そして、上部溶着部14から上部封口片13を更に延長せしめることにより使用済物品投入口16を開閉自在に封口するフラップ部13aを形成している。

【0015】一方、袋体1の下側において、仕切フィルム4と表フィルム3を相互に袋体1の幅方向に溶着した下部溶着部17が設けられ、これにより使用済物品収納室8の底部18を構成すると共に、仕切フィルム4と裏フィルム2の間に位置して、袋体1の下部に未使用物品収納室7を開口せしめる物品取出口19を形成せしめている。尚、裏フィルム2の下端部は、物品取出口18を越えて下方に延長され該物品取出口18を開閉自在に封口する下部封口片20を構成する。

【0016】図示実施形態において、上部封口片13を表フィルム3に着脱自在に固着する感圧性接着剤等から成る固着手段21が設けられており、図1に示すように、該上部封口片13には「使用済投入口」を意味する指示手段22が印刷等により施されている。また、下部封口片20を折り返し状態で表フィルム3に着脱自在に固着する感圧性接着剤等から成る固着手段23が設けられており、図2に示すように、下部封口片20には「取出し口」を意味する指示手段24が印刷等により施されている。

【0017】上記構成の袋体1に未使用の乾電池を収納せしめるに際しては、図2に示すように、下部封口片20を折り返すと共に固着手段23により表フィルム3に固着せしめた状態で、ヘッダ部10における未使用物品投入口15を大きく開口せしめ、商品としての未使用の乾電池25aを未使用物品収納室7に装填する。例えば、ヘッダ部10の両側縁を幅方向中央に向けて挟着すると、ヘッダ芯材9と未使用物品投入口15の開口縁とが相互に離反しつつ円弧を描くように変形して該投入口15を大きく開口せしめるので、該開口を介して乾電池25aの軸線が袋体1の幅方向に向かうようにして、未使用物品収納室7に並列状態で収納する。従って、袋体1の未使用物品収納室7に対する乾電池25aの装填は、人手による手作業の他、機械による自動化が適しており、その際、未使用物品投入口15は、ヘッダ芯材9上で開口しているため、投入された乾電池25aが先ずは保形性のあるヘッダ芯材9により受止められ、次いで、裏フィルム2と仕切フィルム4の間に移動せしめられる。

【0018】未使用物品収納室7に対する乾電池25aの装填が終わると、図3に示すように、未使用物品投入

口15の開口縁に位置して上部封口片13をヘッダ芯材9に対して溶着することにより封緘部26を形成する。このような溶着は、ヒートシーラ等の機械による自動化が可能である。従って、この状態で、所定個数の新品の乾電池25aが未使用物品収納室7に装填され且つ封入された包装パッケージ商品として出荷される。そこで、小売店等の店舗においては、吊下げ手段11によりヘッダ部10を陳列台の吊下げロッド等に吊下げることにより陳列し、販売に供することができる。

【0019】包装パッケージ商品を購入したユーザが乾電池25aを使用する際には、図3(B)に鎖線で示すように、「取出し口」の指示表示24を確認することにより、下部封口片20を開放し、開口せしめられた物品取出口19から必要個数の乾電池25aを取出せば良い。尚、取出した後、下部封口片20により、再度、物品取出口19を封口することができる。

【0020】取出し後、使用することにより消耗した使用済の乾電池25bは、袋体1の使用済物品収納室8に収納する。即ち、「使用済投入口」の指示表示22を確認することにより、図4に鎖線で示すように、上部封口片13のフラップ13aを開放し、開口せしめられた使用済物品投入口16から使用済の乾電池25bを使用済物品収納室8に投入した後、該フラップ13aにより使用済物品投入口16を封口すれば良い。この使用済の乾電池25bの投入により、未使用物品収納室7内の未使用の乾電池25aが仕切フィルム4を介して物品取出口19に向けて押しやられ、使用済物品収納室8に投入された使用済の乾電池25bと、未使用物品収納室7内の未使用の乾電池25aとは、仕切フィルム4の変形を介して、ほぼ同一線上に配列される。

【0021】そして、全ての乾電池を消費し、使用済物品収納室8が使用済の乾電池25bにより満杯になると、上部封口片13のフラップ13aにより使用済物品投入口16を封口した状態で、袋体1と共に廃棄処分に供すれば良い。

【0022】本発明が図示の実施形態に限定されないことは勿論であり、特許請求の範囲に記載された技術の範囲内で、種々の設計変更が可能である。例えば、図示の実施形態では、表フィルム3と仕切フィルム4の下部溶着部17により使用済物品収納室8の底部18を形成したが、一枚の合成樹脂フィルムを半折することにより表フィルム3と仕切フィルム4とを構成せしめ、半折された折曲げ部分により使用済物品収納室8の底部18を形成するように構成しても良い。

【0023】また、図示の実施形態では、裏フィルム2を延長することにより下部封口片20を形成したが、反対に表フィルム3又は仕切フィルム4を下方に延長することにより下部封口片を形成し、このような下部封口片により物品取出口19を封口せしめるように構成しても良い。

【0024】また、図例において表フィルム3に設けた感圧性接着剤から成る固着手段21は、反対側の上部封口片13に設けても良く、同様に、図例において下部封口片20に設けた感圧性接着剤から成る固着手段23は、反対側の表フィルム3に設けても良い。

【0025】更に、図示実施形態では、上部封口片13を裏フィルム2の折り返し延長フィルムにより構成したが、裏フィルム2とは別個独立のフィルムにより上部封口片13を形成し、予め上部封口片13と表フィルム3を固着手段21により剥離自在に固着せしめ、該上部封口片13の上端縁とヘッダ芯材9との間に未使用物品投入口15を開口せしめた構成としても良く、この場合、未使用物品収納室7に乾電池25aを装填した後、上部封口縁13の上端開口縁をヘッダ芯材9に溶着せしめられる。

【0026】

【発明の効果】本発明によれば、複数個の乾電池25aを未使用物品収納室7に配列状態で収納することにより、商品パッケージの店頭販売を好適に行うことができ、小売店等の店舗においてヘッダ部10を吊下げることにより、好適に陳列販売することができる。

【0027】この点に関して、本発明によれば使用済物品投入口16を開閉自在に封口する上部封口片13とヘッダ芯材9との間において未使用物品収納室7に連通する未使用物品投入口15を形成しているため、商品パッケージを準備する際、底部側の物品取出口19を下部封口片20により封口せしめた状態で、未使用物品投入口15から未使用物品収納室7に向けて乾電池25aを容易に装填することができる。特に、上部封口片13により形成れる未使用物品投入口15は、ヘッダ芯材9の上に設けられているので、例えば、ヘッダ部10の両側縁を幅方向中央に向けて挟着し、ヘッダ芯材9と未使用物品投入口15の開口縁とを相互に離反しつつ円弧を描くように変形することにより、該投入口15を大きく開口せしめることが可能であり、未使用物品収納室7に対する乾電池25aの装填を、人手による手作業の他、機械化することが可能である。しかも、未使用物品投入口15に投入された乾電池25aは、先ず保形性のあるヘッダ芯材9により受止められ、次いで、裏フィルム2と仕切フィルム4の間に移動せしめられるので、機械化に適している。そして、未使用物品収納室7に対する乾電池25aの装填が終わると、上部封口片13の開口縁をヘッダ芯材9に溶着することにより封緘部26を形成できるので、ヒートシーラ等の機械により容易に自動化を行うことができる。

【0028】ところで、パッケージを購入したユーザが乾電池25aを使用する際には、物品取出口19から必要個数だけ取出して使用することができ、使用することにより消耗した使用済の乾電池25bは、使用済物品投入口16から使用済物品収納室8に投入し収納する

ことができ、従来のように家庭等において未使用の乾電池と使用済の乾電池が混在し、混乱することはない。即ち、本発明によれば、使用済の乾電池25bと未使用の乾電池25aは、相互に仕切フィルム4により区画された使用済物品収納室8と未使用物品収納室7に独立して収納されるので、乾電池が使用済25bであるか、或いは未使用25aであるかを容易に管理することができる。そして、全ての乾電池を消費することにより、使用済物品収納室8が使用済の乾電池25bで満杯になると、そのまま袋体1と共に廃棄すれば良く、使用済の乾電池をまとめて廃棄処分に供することができるという便利がある。

【0029】尚、本発明は、乾電池の物品に限らず、ボールペン、その他の小物品の販売用袋として広く利用可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の1実施形態を示しており、(A)は正面図、(B)は中央縦断面図である。

【図2】未使用物品投入口から投入した未使用の乾電池を未使用物品収納室に装填した状態を示しており、(A)は正面図、(B)は中央縦断面図である。

【図3】未使用の乾電池を未使用物品収納室に装填した後、未使用物品投入口を封緘した状態を示しており、

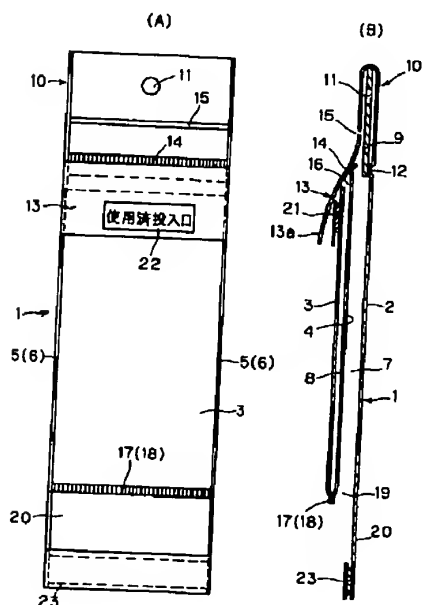
(A)は一部を破断して示す正面図、(B)は中央縦断面図である。

【図4】未使用の乾電池の数本を未使用物品収納室から取出した後、使用済の乾電池を使用済物品収納室に収納せしめた状態を示す縦断面図である。

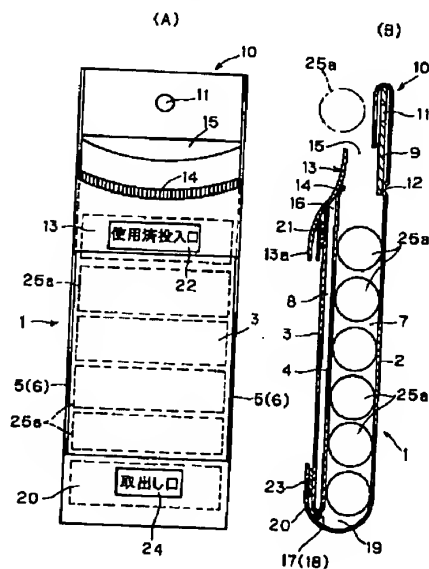
【符号の説明】

- 1 袋体
- 2 裏フィルム
- 3 表フィルム
- 4 仕切フィルム
- 7 未使用物品収納室
- 8 使用済物品収納室
- 9 ヘッド芯材
- 10 ヘッド部
- 13 上部封口片
- 15 未使用物品投入口
- 16 使用済物品投入口
- 19 物品取出口
- 20 下部封口片
- 21、23 固着手段
- 25a 未使用の乾電池
- 25b 使用済の乾電池
- 26 封緘部

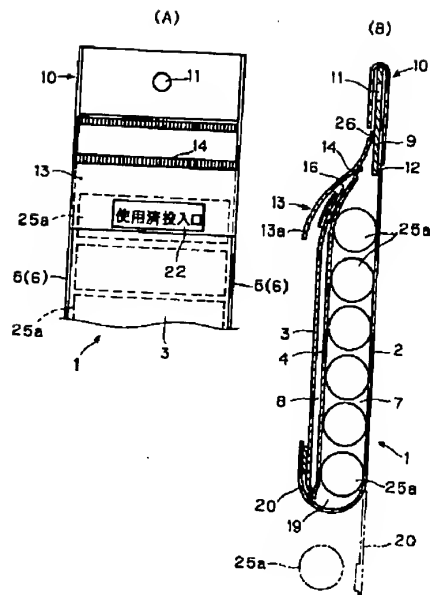
【図1】



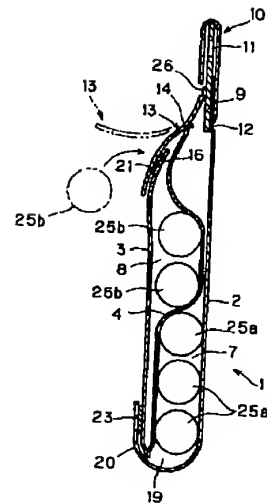
【図2】



【図3】



【図4】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷

H01M 2/10

識別記号

F I

H01M 2/10

テーマコード(参考)

L

Fターム(参考) 3E064 AA03 BA22 BB04 BC18 BC19
 EA04 EA08 EA30 FA01 GA10
 HA06 HB03 HG05 HL01 HL05
 HM01 HM02 HN02 HT06
 3E067 AA22 AB32 AC03 AC12 AC14
 BA13A BB14A BC06A CA11
 CA24 EA05 EA12 EA22 EB17
 EB22 EC33 EE06 EE09 EE15
 FA02 FC01 GD10
 5H040 GG13